大津市立青山小学校

令和6年度　我が校の学ぶ力向上策

【市町　目標】
〇新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

【学校　目標】
〇自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす青山っ子
校内研究テーマ：主体的に考えを表現することができる子どもの育成

【現状と課題】
〇視点１　主体的･対話的で深い学びの実現につながる授業づくりが必要である。
〇視点２　学ぶ意欲を引き出す学習集団、支持的な学級風土を築く必要がある。
〇視点３　良質な授業改善、OJTを意識した学校組織力・教師力向上に努める必要がある。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況　90%以上→A　70%以上90%未満→B　70%未満→C　　時期→1回目：9月　2回目：2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点１】主体的･対話的で深い学びの実現につながる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①主体的･対話的で深い学びの実現につながる授業づくり。 ②「個別最適化」された教育を目指し、基礎的な知識・技能の充実を図る。	①「読み解く力」「主体的・対話的で深い学び」を追求する授業研究会の実施		
	①学校評価（教員アンケート）授業づくりに関わる項の評価		
	②学校評価（児童アンケート）授業・学習に関わる項の評価		

【視点２】学ぶ意欲を引き出す学習集団

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①自ら目標を立て、自分の考えを形成できる支援に努め、安心して表現できる学級づくりを目指す。 ②学習場面において、友だちと考えを聴き合うことで、温かく支持的な学習集団を育てる。	①学校評価（教員・評価委員）学級・学年集団づくりに関わる項の評価		
	①学校評価（児童・保護者）学級・学年集団づくりに関わる項の評価		
	②学校評価（児童アンケート）発表・話し合いに関わる項の評価		

【視点３】教職員が一丸となって取り組む授業改善

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①日常の課題を学年や部会で共有し、それぞれの立場から検証し、解決策を練り上げ、行動連携していく。 ②OJTや地域連携活動を活用し、互いに学び合いながら自発的に成長していくことを目指す。	①定期的および臨時の対策会議及び学校評価（教員アンケート）会議・研修等に関わる項の評価		
	②学校評価（保護者・地域）情報発信や参観、懇談会に関わる項の評価		
	②学校評価（地域アンケート）地域人材の活用に関わる項の評価		

・4月の職員会議において、学校長が教育目標や学校経営方針についてわかりやすく伝え、視点1については研究主任を中心とした研究推進部、視点2，3については教務部が中心となってよびかけ、全教職員で取り組む。
・第１回校内研究会において、本年度の重点を全職員で共有し、「読み解く力」について理解を深める。今年度は、特に国語科「読むこと」の領域に焦点をあて、言語活動の工夫を通して、主体的に考えを表現する子どもの育成を目指す。CBT調査研究の指定を受け、計画的に調査研究を行い児童一人ひとりの「個別最適化」された教育を目指す。
・毎週月曜日に行ういじめ対策会議において、全教職員で全校の子どもや学級の様子を共有し、教職員が声をかけ合い高め合いながら、学ぶ意欲を引き出す学習集団づくりを行う。
・生徒指導主任を中心に、毎日、各学年の学習の様子とともに取組の意図をHPで発信し、風通しのよい学校づくりに努める。

今年度の取組の成果と課題